

各位

## アイケンファーマとユニゾンラボラトリー ラオスにおける長期戦略的パートナーシップに合意

アイケンファーマ・ラオス株式会社（本社：ラオス・ビエンチャン）とユニゾンラボラトリー株式会社（本社：タイ・バンコク）は、ラオスにおける長期戦略的パートナーシップの基本合意書に調印しました。

これにより、現在ユニゾンラボラトリー・ラオス株式会社が販売する 30 品目を、今後 1 ヶ月をめぐりにアイケンファーマに移管し、6 月より販売開始をすることになります。ユニゾンラボラトリー・ラオス株式会社の 2016 年の売上は約 250,000 米ドル（日本円にして約 2800 万円）、販売店舗数は薬局、クリニックなどを合わせて約 300 店舗になります。

ユニゾンラボラトリー株式会社 海外事業ダイレクター アノン・タネスボラクは、次のように述べています。「私達にとってラオスは、タイからの重要な戦略的拡大エリアの 1 つです。私たちはこれまで 5 年以上に渡り自社販売を行いつつ、ローカルやグローバル代理店とのミーティングを何度も重ね、市場調査を行い、私達の事業拡大にとってベストのパートナーを模索してきました。長い協議の結果、真摯な努力とラオス市場に対する深いコミットメント、そして市場への深い知識を持つ卓越したセールス・マーケティングチームを高く評価し、アイケンファーマを、パートナーとして選択することに決めました。私は、このアイケンファーマとのコラボレーションが、私達のラオスビジネスにとって、長期的に高い利益を生み出すことを確信しています。」

アイケンファーマ株式会社 代表取締役社長 今本謙太郎は、「ユニゾンラボの高品質プロダクトとアイケンファーマの高品質ビジネス・オペレーションとのコラボレーションにより、さらに多くの人々へ高品質医薬品を提供できることを確信しています。ラオス医療の未来へ貢献できることは非常に嬉しいですし、また、ラオスにおけるアイケンファーマのスタートアップとして、最高の長期的パートナーと締結できました。」と述べています。

提携の具体的なステップとして、ユニゾンラボラトリー・ラオスより、30 品目のライセンス移管登録、パッケージの輸入販売元変更作業、ユニゾンラボラトリー・ラオスの既存顧客へアイケンファーマへの移管の紹介などを 5 月より開始いたします。アイケンファーマは、新 GM 以下 5 人体制で、ビエンチャンを中心にラオス全域への販売を行います。

### ラオスの市場について

ラオスの医薬品市場は、80 億円<sup>1)</sup>程度で、2016 年には 15% 程度の高い成長をしています。GDP の成長も ASEAN でトップの 7.6%<sup>2)</sup>と、高い数値を示す成長市場です。一般的な公的保険がないため、薬局やクリニックでの医薬品流通割合が高いのと、ほぼすべての病院が政府系というのも、ラオスのヘルスケア市場の特徴です。

- 1) 自社調査
- 2) ASEAN Economic Chartbook 2016, The ASEAN Secretariat

### アイケンファーマ株式会社について

アイケンファーマ（ラオス）株式会社は、2016年に設立されラオスのビエンチャンに本社を持つ医薬品・医療機器・化粧品の輸入販売会社です。「ラオスへの高品質製品の提供」をミッションとし、製品登録、輸入、マーケティング、セールス、ディストリビューション、代金回収など、輸入販売代理店としてのサービスを提供しています。詳細につきましては、<http://aikenpharma.com/> をご参照下さい。

### ユニゾンラボラトリー株式会社について

ユニゾンラボラトリーは、タイのバンコクに本社を持ち、1956年に設立されたジェネリック医薬品の製造販売会社です。グループに、医薬品販売会社のメドライン、化粧品・食品製造販売会社のFCPなどがあります。ユニゾンラボラトリーは、グループ社員数1300名、医薬品のセールス250名以上で活動しており、タイのジェネリック医薬品企業ではトップ3にランキングされます。製品領域は、循環器、感染症、神経、精神科、整形外科、糖尿病、泌尿器科、腎臓科など多岐に渡ります。また、工場はPIC/s(EU GMP)を取得し、2015年にはエネルギー省から環境賞を、2016年には品質マネジメントにおいて、タイ首相賞を受賞しました。また、2012年から16年まで一貫してタイ・医薬品食品局からFDA優良品質賞を受賞しています。これまでに、シンガポール、マレーシア、フィリピン、ミャンマー、ラオスなど20カ国に輸出を行っております。詳細につきましては、<http://unisonlab.com/> をご参照下さい。

以上